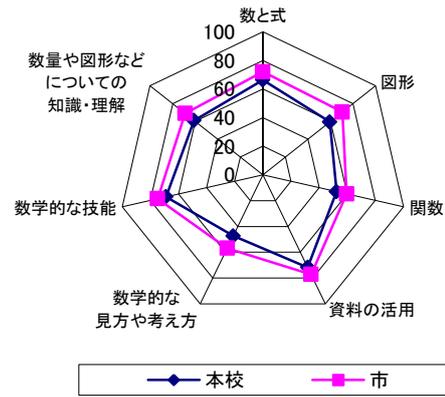


# 宇都宮市立鬼怒中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	66.4	72.1	70.7
	図形	59.3	70.5	58.1
	関数	52.5	59.6	52.1
	資料の活用	71.7	77.2	64.1
観点別	数学的な見方や考え方	47.4	56.9	47.7
	数学的な技能	68.9	74.9	69.2
	数量や図形などについての知識・理解	61.0	68.9	59.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。  
 (数学では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



## ★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市の正答率を5.7ポイント下回っている。</li> <li>・項目別で見ると、乗法公式を使った因数分解の問題で市の平均を上回っているものもあった。正答率が低かったのは平方根の計算や2次方程式を解く問題であった。平方根についての理解不足が2次方程式の解き方にも影響していると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法公式を十分に理解させ、計算ミスに注意して、展開や因数分解を繰り返し練習する。また、平方根の意味を丁寧に指導し、平方根の計算も同様に反復練習する。授業の時間に計算の復習をする時間を設け、また、モジュール学習を計算力を定着させたい。</li> </ul>
図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市の正答率を11.2ポイント下回っている。</li> <li>・角度を求める問題、三角形の合同条件を使った証明問題、相似な図形の性質を使って辺の長さを求める問題では、市の正答率を上回っているものもあった。数と式同様、内容を忘れてしまっている生徒や、理解が不十分な生徒もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年時の平面図形や空間図形の内容を忘れている生徒が多い。図形に関する基本的な内容は、問題を何度も解き、パターンを覚える。また、相似な図形など複雑な図形の問題では、図を書いて丁寧に考えていく。</li> </ul>
関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市の正答率を7.1ポイント下回っている。</li> <li>・比例・反比例、一次関数、2乗に比例する関数については苦手意識を持つ生徒が多い。式を求める問題、変域、グラフに関すること、グラフから読み取る問題ができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数を理解するうえで、表やグラフはとても大切である。それぞれの関数の性質をしっかりと押さえ、問題を解く際に、表やグラフを使って考えるよう指導する。また、式を求める問題、変域とグラフ、変化の割合を求める問題も重要なので、同じ種類の問題を繰り返し解かせ、パターンを身に付ける。</li> </ul>
資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市の正答率を7.9ポイント下回っている。</li> <li>・確率を求める問題で、市の平均を上回っているものもあった。度数分布表の階級、階級値、相対度数などの意味を忘れてしまっている生徒が多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率に関しては、基本的な考え方を理解している生徒は多い。さらに樹形図や表などの書き方を丁寧に指導し問題を解いていくようにする。また、資料の整理に関しては、度数分布表を用いた問題を解くことにより、知識を定着させたい。平均値、中央値、最頻値、範囲なども忘れやすいところなので何度も復習させたい。</li> </ul>